

2018 総合日本史授業プリント織豊2(近世2) 天下統一(織田信長)

3年 組 番

[月 日]

☆16C後半: 戦国大名の群雄割拠→地方的統一から¹上洛の動き

理由: ²朝廷・幕府の権威を利用 ★ ³畿内(先進地域)の制圧→経済基盤の確保

4 織田信長

信秀の子 尾張の大名(肥沃な濃尾平野・京にも比較的近い) 清洲城を本拠
革新性(〈例〉鉄砲の活用、南蛮貿易の保護)

1560. ⁵桶狭間 の戦[尾張]…上洛途中の⁶今川義元 を破る

⁷松平元康(⁸徳川家康) [三河]と同盟

1567. ⁹斎藤竜興[美濃]を破る→拠点¹⁰稲葉山城(¹¹岐阜 城)へ ※この頃から「¹²天下布武」の印章を使用

1568. ¹³足利義昭 (13代義輝^{てる}の弟)を奉じて上洛★(¹⁴六角氏[近江]を倒す)→15代将軍に擁立

…次第に信長と対立 →反信長勢力の攻勢…いわゆる「信長包囲網」…

(1) ¹⁵一向一揆 …¹⁶石山本願寺 (11世¹⁷願如)中心 ←毛利水軍の援助

〈例〉1570~80. ¹⁸石山合戦 1570~74. ¹⁹長島の一向一揆[伊勢]

1574~75. ²⁰越前^{ばかり}の一向一揆…「府中町は死がい計り」(信長書状) ※文字瓦の出土

(2) ²¹浅井^{あざい} (長政) [近江]・²²朝倉^{よしかげ} (義景) [越前]連合

1570. 金ヶ崎の戦→²³姉川の戦 (信長側の勝利)→1572. 長政・義景滅亡

(3) ²⁴延暦寺…浅井・朝倉を援助 →1571 ²⁵比叡山焼き打ち

(4) ²⁶武田信玄…上洛開始(1572)→三方ヶ原^{みかたがはら}の戦で家康軍を撃破→信玄急死(1573)、撤退

(5) ²⁷足利義昭追放(²⁸1573)…²⁹室町幕府滅亡 →義昭は各地で抵抗を続ける

→朝廷の保護・利用★^{おおぎまち}…正親町天皇・皇太子(誠仁親王)父子を保護 →しばしば和平を仲裁

1575. ³⁰長篠の戦 [三河]…³¹武田勝頼に勝利(織田・徳川連合軍の³²足軽鉄砲隊が活躍)

1576. ³³安土城 [近江]築城(~79)…五層七重の天守閣 交通の要地

1580. ³⁴石山本願寺と和睦…天皇の仲裁★ ³⁵加賀の一向一揆平定(←家臣 柴田勝家)

1582. ³⁶天目山の戦い[甲斐]…武田氏滅亡

³⁷本能寺の変 …家臣³⁸明智光秀に滅ぼされる

信長の統治政策

土地(農業) ³⁹ 指出検地を征服地に広く実施

商工業政策 重要都市の直轄 <例> ⁴⁰ 堺 (1568. 2万貫の矢銭徴収) ⁴¹ 京都 (1573. 上京を焼く)
流通の円滑化 → 貴族・寺社は特権を失う

・ ⁴² 楽市・楽座…自由営業の許可 <例> ⁴³ 安土の山下町 (1577) 岐阜の加納 (1567)

・ ⁴⁴ 関所撤廃 (<例> 京都七口) ・ ⁴⁵ えりぜにれい 撰銭令 の公布 (1568) → プリント中世 参照

宗教政策 ⁴⁶ キリスト教保護 フロイス・オルガンチノら宣教師の活動を保護
安土にセミナリオ、京都の南蛮寺を認める

⁴⁷ 仏教の統制 延暦寺・一向宗：武力で弾圧

法華宗：⁴⁸ 安土宗論 (1579)…浄土宗徒との討論・敗北(計画的)

【正誤問題に挑戦】<センター1998本試験A、1991本試験より>

- (1) 織田信長は、琵琶湖畔に壮大な天守閣をもつ安土城を築き、家臣たちを集住させ、また楽市・楽座によって城下町の商工業の発展をはかった。
- (2) 織田信長は、仏教に対抗させるためにキリスト教を保護して東大寺を焼き打ちし、法華一揆を弾圧した。